

シェブロン (CVX)

【セクター】 エネルギー

信買

【市場】 NYSE

信売

【企業概要】

世界的なエネルギー会社です。原油や天然ガスの生産を行うほか、輸送用燃料等の製造も行っています。米国を始めアンゴラ、アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、中国、カザフスタン、メキシコ、ナイジェリア、英国、ベネズエラ等グローバルに事業展開しています。調整後セグメント利益（その他除く）で見た上流部門の割合は80%、下流部門は20%です（2022年12月期）。ウォーレン・バフェット氏率いるバークシャー ハサウェイが大株主の1社です（2022年9月時点）。

【業績】（単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

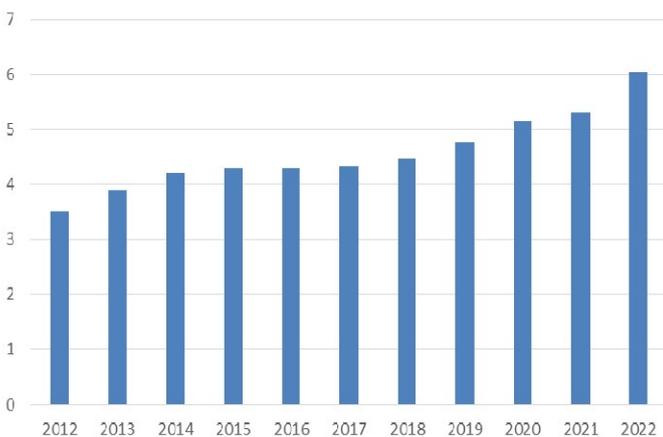
決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
21.12期	155,606	15,608	8.13	5.31	72.1	11.5	58.4
22.12期	235,717	36,542	18.83	6.04	-	-	-
23.12期（予）	214,292	29,315	15.86	5.99	87.9	18.4	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）会社資料、BloombergのデータよりSBI証券作成

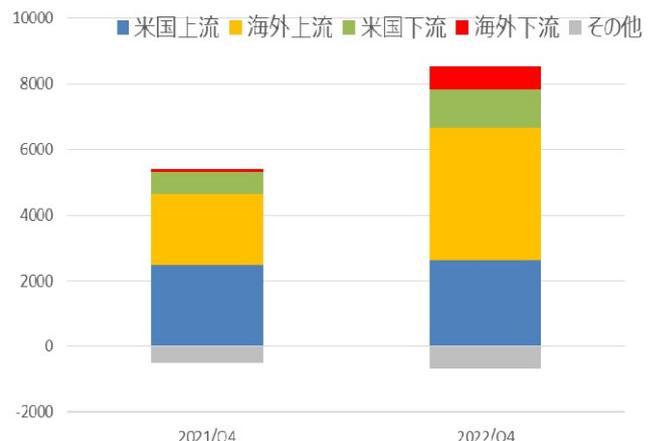
【主要指標】

通期配当額の推移（1株当たり、ドル）



（出所）BloombergよりSBI証券作成

調整後セグメント利益（百万ドル）



（出所）会社資料よりSBI証券作成

【会社の見方】

エネルギー価格上昇を背景に業績は急回復しています。また、2021年には低炭素戦略を発表しました。2028年までに100億ドルを投じることを明らかにしています。上流部門のスコープ1（直接排出）とスコープ2（間接排出）における温室効果ガス排出量を2050年までにネットゼロにする目標を設定しました。キャプチャーやトヨタ等とそれぞれ水素ビジネスでの提携も発表しています。なお、S&P500配当貴族指数（25年以上の連続増配銘柄の中から構成される）に採用されています。特に配当を好む投資家にとって魅力のある株の1つだと考えられます。

【見通し・注目点】

2022年10-12月期はEPSが前年比60%増の大幅増益でしたが、市場予想は下回りました。上流部門の調整後セグメント利益が市場予想を下回ったのが要因と思われます。上流部門の同利益は米国が同7%増、海外が同83%増でした。下流部門の調整後セグメント利益は市場予想並みで、米国が同79%増、海外が同7.2倍でした。マイク・ワースCEOは「2022年は2021年に比べて投資を75%以上増やした。米国の年間生産量拡大はパーミアン盆地の生産が牽引した」とコメントしています。なお、750億ドルに上る大規模な自社株買い計画を発表しており、投資家の注目を集めそうです。

## 本レポートに関するご注意事項

- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

## 手数料及びリスク情報等

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。